

「事業名：日本版ハンフォードモデル構築による福島復興創生」 2019年度補助事業の実績・成果

東日本国際大学 連携市町村：いわき市、広野町、楡葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、浪江町、葛尾村
連携市町村との協定締結日：令和2年1月25日 現地拠点：双葉郡広野町大字下北佐久迫字大谷内65

事業のポイント

本事業の主な趣旨は、東日本国際大学福島復興創世研究所をコーディネーターとして、福島県のいわき市・双葉地方8町村、将来的にはいわき商工会議所、双葉郡の商工会（産業界）が産学官一体となって米国ハンフォードの主要機関（関係自治体、TRIDEC、国立パシフィックノースウエスト研究所、ワシントン州立大学トライシティーズ校、コロンビアベイスン短期大学等）と緊密な関係を築き、福島浜通り地域がハンフォードをモデルとして研究・検証することで、廃炉の進展、産業の振興等をより一層促進させ、福島復興に寄与することである。

今年度の活動実績

- ・ハンフォード地域への視察調査、帰国後の報告書・レポートのとりまとめ、発表
- ・いわき市、双葉郡8町村長への複数回訪問による緊密な連携関係構築
- ・福島浜通り地域の国際教育研究拠点に関する第2回有識者会議、サステナブルキャンパス推進協議会2019大会（名古屋大学）での発表
- ・いわき市、双葉郡8町村と浜通りの復興と発展に向けた連携協力協定の締結
- ・ハンフォード現地から代表・専門家を招いた国際シンポジウム、セミナーの開催

今年度の成果

- ・ハンフォードとのコネクション構築
- ・広域的な連携体制の構築（いわき市・双葉郡8町村との連携協力協定締結）
- ・ハンフォードに対する浜通り地域関係者・地域住民及び国・県・関係機関団体の理解促進
- ・ハンフォード地域関係者における浜通り地域の理解促進



将来的な浜通り地域の連携モデル案

